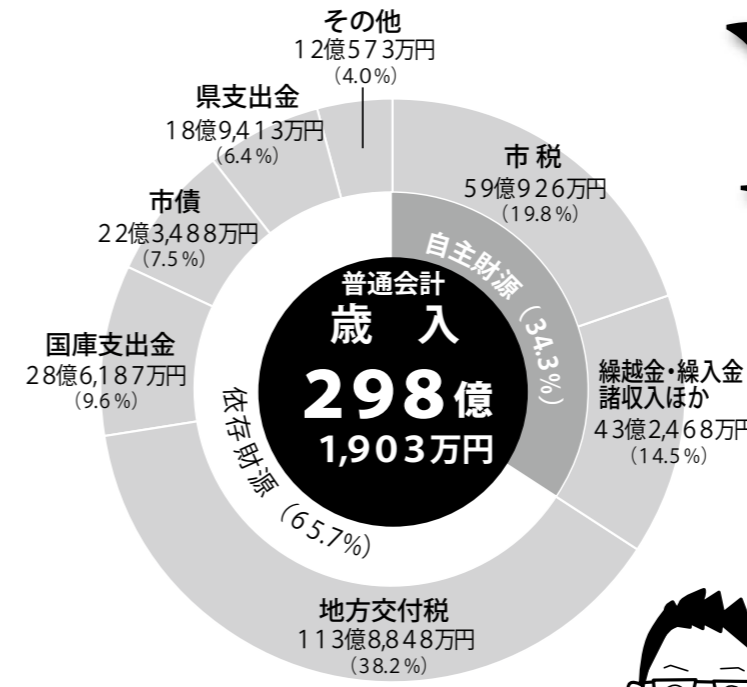


決算

平成23年度

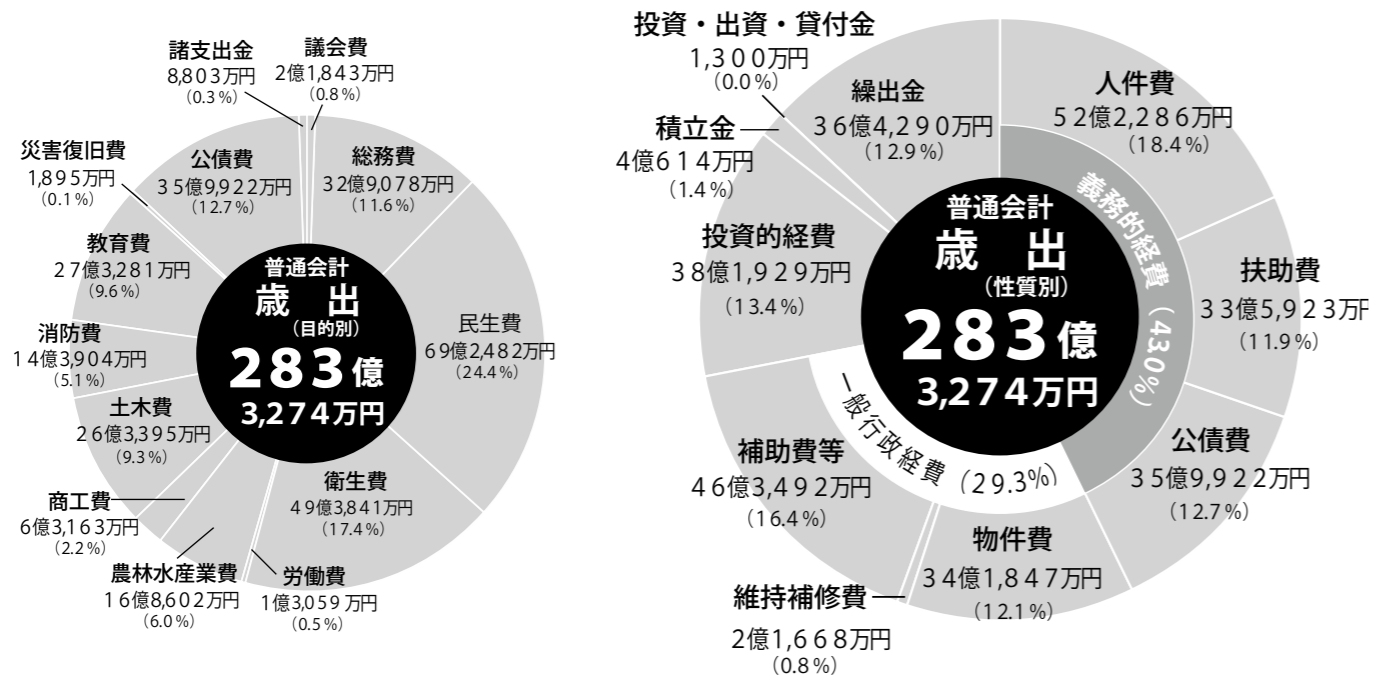


平成23年度、どのような事業や施策に予算が使われたのか、その概要をお知らせします。

財政局課 ☎ (25) 8111



※おことわり…グラフの金額は、1万円未満を切り捨てているため、合計が一致しない場合があります。



性質別歳出 用語の説明

- ▶ **人件費** 職員の給与、議員の報酬などの経費
- ▶ **扶助費** 高齢者福祉や児童福祉など社会保障に必要な経費
- ▶ **公債費** 借金返済のための経費
- ▶ **物件費** 消耗品や備品購入、委託料などの経費
- ▶ **維持補修費** 施設の維持補修のための経費
- ▶ **補助費等** 各種団体への補助金や負担金などの経費
- ▶ **投資的経費** 公共施設の整備、改修に必要な経費
- ▶ **積立金** 将来の財源不足や支出に備えて積み立てる経費
- ▶ **繰出金** 特別会計へ支出するための経費

国等の交付金制度を有効活用し 8億円の黒字

歳入歳出差引額は、14億8,630万円です。この内、平成24年度に繰り越した事業に必要な財源を除いた実質収支は、8億1,351万円の黒字決算となりました。

平成23年度は、国の緊急経済対策としての交付金制度を有効に活用し、地域経済の活性化と活力ある地域づくりに積極的に取り組ま

歳入

病院建設事業に基金繰入 前年度比4億円の増

平成23年度の普通会計の歳入決算額は、298億1,904万円です。前年度と比べ4億2,318万円(1.4%)の増額となりました。

歳入の内容を財源別に見てみると、自主財源では、基幹的な収入である市税において、法人市民税(法人税割)が経済対策の好影響を受け19.2%、固定資産税が土地価格の下落分を家屋が補い0.5%、市町村たばこ税が税率改正により15.4%それぞれ伸び、全体で1.7%増、金額にして9,740万円の増額となりました。また、繰入金において、病院建設準備基金の取り崩しにより10億5,793万円(14.4%)

※()内は伸び率

歳出

病院建設事業で補助費等大幅増 公債費縮減で義務的経費は減

一方、歳出決算額は283億3,274万円です。前年度と比べ1億989万円(0.4%)の増額となりました。

また、性質別に見てみると、義務的経費では、社会保障関連経費の増加により扶助費が6%の増となったものの、公債費の縮減により全体では5億4,417万円(4.3%)の減額となりました。

歳出の内容を目的別に見てみると、大きく増加しているものは、消防費が防災行政無線整備費の増や救助工作車更新等により5億782万円(11.5%)の増額、農林水産業費が損失補償金の支払いや森林事業費の増などにより2億9,390万円(21.1%)の増額となりました。

また、性質別に見てみると、義務的経費では、社会保障関連経費の増加により扶助費が6%の増となったものの、公債費の縮減により全体では5億4,417万円(4.3%)の減額となりました。